

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	対象地域に適切な給水・衛生設備が整備され、住民の間に衛生知識が広がり、屋外排泄する人口が減る。
(2) 事業内容	今年度は、南東県 6 つの学校と学校が属する 6 つのコミュニティを対象に活動を行う。 2014 年 6 月 4 日までに実施した事業内容全般については、給水設備設置の着工が遅れており、学校やコミュニティ対象の衛生トレーニング、学校に建設する衛生設備は予定通り進捗している（遅れの原因と今後の対応については、1.1.1. を参照）。 各活動の進捗の詳細は以下の通りである。 1. 学校対象の水衛生環境改善及び衛生トレーニング 1.1 給水設備・衛生設備の建設 1.1.1 給水設備 本事業の対象 6 校（南東県のマリゴー郡とカイエス・ジャクメル郡）において、生徒、教師及び学校周辺に住む住民に安全な水を供給するため、事業開始にあたっては、南東県で井戸掘削にかかる事前調査を実施し、DINEPA（ハイチ水衛生局）とも協議の上で井戸を建設することとした。 しかし、本事業開始後、井戸建設を始める前に、DINEPA より、マリゴー郡の 3 校については、DINEPA が管理する湧水を利用した給水設備の建設と給水システムの整備、具体的には、湧水の水源地の保護、湧水の水道管の一部及び給水所（11箇所）の修繕、その水道管の対象 3 校までの延長並びに各校に湧水を利用する給水設備の建設をするという提案を受けた。これに対し、当団体で検討した結果、DINEPA が管理する湧水の水質・水量が安定していること、裨益エリアの拡大を図ることができるため（学校周辺 1 地区から給水所周辺 11 地区に拡大）、井戸建設から湧水による給水設備の建設と給水システムの整備に変更する予定である。 一方、カイエス・ジャクメル郡の対象 3 校では、現在、井戸掘削準備中。 1.1.2 衛生設備 マリゴー郡とカイエス・ジャクメル郡の対象 6 校で、4 月下旬に、建設業者の入札を実施、5 月に衛生設備着工。順調に進捗中。 1.2 水管理委員会の設立と維持管理トレーニング 前述の給水設備の進捗に合わせて実施予定。 1.3 学校衛生委員会の設立とトレーニング 2014 年 3 月中旬に、対象 6 校で、各学校 7 名（校長 1 名、先生 1 名、生徒 2 名、保護者 2 名、清掃員 1 名）からなる学校衛生委員会が設立された。3 月 26、27 日に委員会メンバーに対し、衛生知識や衛生設備維持・管理能力

	の向上を目指した研修を実施した。 1.4 学校啓発イベント 衛生促進員、ファシリテータらと実施計画策定中。衛生設備完成後に、学校衛生委員会が中心となり、実施予定。 2. コミュニティ対象の水衛生環境改善及び衛生トレーニング 2.1 コミュニティ導入キャンペーン 予定していた「コミュニティ導入キャンペーン」を変更し、衛生クラブを設立することとした。事業開始直後に、コミュニティ導入キャンペーンを開催予定であったが、地域住民を継続的に巻き込む活動のほうが効果的と判断し、コミュニティリーダー等との合意を経て、2014年2月、各対象コミュニティにおいて4つの衛生クラブ（子どもクラブ、若者クラブ、母親クラブ、父親クラブ、以上各クラブ15人×4クラブ×6コミュニティ計360人）を設立（変更については在外公館了承済）。同月に、それぞれのクラブで第1回合同ワークショップを開催し、メンバーと活動計画を作成した。 それ以降毎月各クラブに対し、衛生トレーニングを継続。クラブは、今後設立するコミュニティ衛生委員会とともに、コミュニティ住民に対し、健康・衛生知識を発信する役割を果たす。 2.2 コミュニティ衛生委員会の設立とトレーニング 6月中旬以降に実施予定。 2.3 世帯トイレ建設支援 2014年2月より、2.1で設立された衛生クラブが、低コストできる世帯トイレの建設を奨励している。 2014年4月29、30日で、地元石工、計12名（各コミュニティ2名）に対し、建設方法を教えるためのトレーニングを実施。世帯トイレの建設が開始された。 2.4 コミュニティ啓発イベント 衛生クラブメンバーが中心となり、音楽や踊りを交え、楽しみながら衛生習慣の重要性を学べる啓発イベントを、4つのコミュニティで実施した。計1,423人が参加。この啓発イベントは、カーニバルのシーズンに合わせ、2014年2月28日に2つのコミュニティ (Cotrelle, Francique) で、またほかの2つのコミュニティ (Clémence, Lumaire) では「世界水の日」に合わせて、3月20、21日に実施し、多くの住民の参加が得られた。 3. 上記1. と2. にまたがる能力強化 3.1 導入ワークショップ 2013年12月13日に、事業開始に当たり、事業の概要と活動内容について、DINEPA、教育省、保健省などの関係者に共有することを目的として、実施した。 3.2 水衛生事業関係者ワークショップ
--	--

	事業の進捗情報の共有を目的とするため、学校における衛生・給水設備建設や、コミュニティにおける世帯トイレの進捗が期待される2014年9月頃に、DINEPA、教育省、保健省などの関係者に対して開催予定。
(3) 達成された効果	直接裨益者数および間接裨益者数は、計画どおりの予定。指標に基づく現在までの進捗状況は、以下のとおり。 1) 学校の水衛生環境が整備、維持管理される。また教師、生徒が適切な衛生知識を身につける - 給水・衛生設備を使用する生徒と教師の数： (建設のための入札準備中) - 学校衛生トレーニングを受けた生徒と教師の数： (衛生設備建設後に実施予定) - トレーニングを受けた衛生委員の数： 39人(130%達成、衛生委員のメンバーの数を計画よりも増大させたため) - 学校での啓発イベントの開催回数と参加者人数： (衛生設備建設後に実施予定) 2) コミュニティ住民が正しい衛生知識を得る。また、住民が自力で世帯トイレを建設する - コミュニティ導入キャンペーンに参加した住民の数→衛生クラブの設立と合同ワークショップの参加者数： 358人(119%達成) - コミュニティ衛生トレーニングを受けた衛生委員の数： (6月中旬に実施予定) - 石工(世帯トイレ建設を教える技術者) トレーニングを受けた石工の数：12人(100%達成) - 建設された世帯トイレ数： (6月中に衛生委員会が設立され次第、本格的に啓発活動を実施予定) - 世帯トイレを利用できるようになる住民の数 (6月中に衛生委員会が設立され次第、本格的に啓発活動を実施予定) - コミュニティ啓発イベントの回数と参加人数 4回、1,423人(回数67%、人数118%達成) 3) 水衛生事業関係者の連携が強化される - 水・衛生環境改善事業のためのワークショップを受けた水衛生事業の関係者の数：DINEPA職員4人、保健省職員1人、教育省職員1人、計6人(33%達成、予定していた参加者の欠席が見られた。後日欠席者に対してはワークショップの内容を共有済。)
(4) 今後の見通し	今後は主に以下の活動を予定している。 1. 学校対象の水衛生環境改善及び衛生トレーニング

	● マリゴー郡（3校）の湧水利用の給水設備の業者への発注、建設開始（7月） ● カイエス・ジャクメル郡（3校）で、地下水調査の結果を踏まえ、井戸掘削（7～8月） ● 上記6校の給水設備の建設終了（10月） ● 衛生設備の建設モニタリング、工期終了（現在～8月末） ● 水管理委員会の設立と維持管理トレーニング（10月） ● 学校衛生委員会への継続的なトレーニング（8～9月） ● 学校衛生委員会による学校啓発イベント（9～10月） 2. コミュニティ対象の水衛生環境改善及び衛生トレーニング ● 衛生クラブへの継続的な衛生トレーニング（現在～9月） ● 第2回衛生クラブ合同ワークショップ（8月） ● 衛生クラブメンバーによる地域住民の行動調査（7～8月） ● コミュニティ衛生委員会の設立とトレーニング（6月） ● コミュニティ衛生委員と石工による世帯トイレ促進活動（6月～10月） ● 2つのコミュニティにおける衛生啓発イベント（10月） 3. 上記1. と2. にまたがる能力強化 ● 水衛生事業関係者ワークショップの開催（9月）
--	---